

二学期終業式

学期末を迎え、一つだけお話をしておきます。

厚さ0.1ミリの新聞紙を1回折ると厚さは0.2ミリになります。これをさらに折ると0.4ミリになり、3回目は0.8ミリ、4回目は1.6ミリになります。では30回、40回、100回折るとどれぐらいの厚さになるのでしょうか？ 実際は27回折ると富士山より高くなり、42回折ると月までの距離を超えてしまいます。100回折ると、この私たちの住む銀河系を超えてしまうことになります。計算式を考えれば誰にでも直ぐにわかります。折る回数を n とすれば、厚さは 0.1×2^n ミリで表されるからです。例えば n に42を代入すると44万キロを超えますね。地球から月までの距離です。

つまり小さなものでも積み重ねていくととてつもない大きさになるということです。また、成長曲線というものがあります。主に子どもの身長や体重の経年変化を追ったものですが、様々なものについて経年変化を調べると興味深いことが分かります。成長は必ずしも直線的ではなく、急激に成長する時期がありS字カーブを描くということです。学問やスポーツの世界でも、長い努力の蓄積期間を経て急激に成長することがあります。急に勉強がわかるようになった。急に泳げるようになった。急に自転車に乗れだした。マラソンのタイムが急に短縮された。このようなことは、一生懸命何かに打ち込み努力した人には、誰にでも一つは経験したことがあると思います。ここで重要なことは、毎日少しでもいいですから向上するための努力を続けているということです。

部活動を一生懸命する人の中に、試験期間や修学旅行の間も練習しないと不安だといって朝早くから練習をする人がいますが、その気持ちはよく分かります。と同様に勉強も一日おろそかにすると一歩後退することを考えてもらいたいものです。英語学習を一日さぼれば2日前の語学力になることはよく知られています。日常使わない外国語だから一日でも使わないと忘れていくのです。ちょうど折角折った新聞紙を開いてしまうようなものです。久御山高校生には、この新聞紙を折りつづけるような努力を毎日続けて欲しいと思っています。3年間でどれだけ成長するのか、私たちには想像もつきません。本当に楽しみです。

昨日、皆さんの、3学期の試験の成績や出席状況について担任や各教科の先生方から報告を受けました。

残念ながら、毎回同じ人の名前があがっています。決して一度の誤りを愚行とは言いません。愚行とは度重なるおろかな行為を省みず続けていることを愚行と言うのです。

皆さん一人一人が、この1年間を振り返り、心機一転して、新たな決意で新年を迎えることを期待しています。